

# 真行草

平成30年度  
11月発行

第11号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OBOG 係 hamaikyudoobog@gmail.com

毎年1回発行

ホームページが新しくなりました！

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp/>

## 西医体男女準優勝!!!



平成30年8月15日 西日本医科学学生総合体育大会

## 人の「本来の課題」

弓道部 師範 佐藤清昭

私は、寝る前にベッドで本を読む習慣があります。その時に読むのは、昼間とは違って、小説、エッセーという「肩のこらないもの」です。日本語の本のこともあれば、ドイツ語の本のこともあります。

しばらく前までは、Bernsteinzimmer [ベルンシュタイン・ツィンマー] 『琥珀の間』という、ドイツ語の長い長〜い小説を読んでいました。

### (1) 『琥珀の間』

「琥珀の間」というのは、ドイツ・プロイセンで 18 世紀の初めに建造された部屋と装飾のことで、すべて高価な琥珀からできています。現在のお金に換算することは不可能なほど、価値ある美術品です。この部屋はその後ロシア皇帝にプレゼントされましたが、第二次大戦中にドイツ軍が略奪。戦後のドサクサの中で行方が分からずじまいになってしまいました。

この小説の主人公は、「琥珀の間」を代々管理するように命じられてきた、と言うか、その管理を「天命」と信じてきた Wachter [ヴァッハター] 一族です。このファミリーに与えられた使命は、ただただ「琥珀の間」という「美術品」を完全な形で後世に伝えていくことです。

### (2) 「医学」を学びたい？

この Wachter 一族の中に、自分たちの「使命」に対して疑問を持つ長男は 230 年の間、一人もいないはずだったのですが....、一度だけ.... 1725 年....19 歳の長男の Julius [ユーリウス] は父親の Friedrich Theodor [フリードリ

ヒ・テオドーア] に「自分は医学を勉強したい」と言い出します：

息子：「父さん、なぜ医者が『琥珀の間』の管理をしてはいけないんだろう？ 医者をしながらだって、部屋を管理することはじゅうぶん可能じゃないか？」

父親：「なぜ『琥珀の間』を管理する者が医者であってはいけないのか.....？.....それは、人が『本当に仕える』ことができるのは『ひとつ』だけだからだ....『医学』に仕えるか、『琥珀の間』に仕えるか....。『両方一緒に』というのは、それぞれに半分だけ仕える、ということだ。そして半分では、息子よ、それは『琥珀の間』にとっては『少なすぎる』のだよ」

### (3) 人の「本来の課題」

そう、私もそのように思います。人には、やはり一人ひとり「本来の課題」というものがあるのでしょうか。「天命」と言ってもいい。

私は弓を握り始めてから 30 年以上経ちます。今では体力が落ちてきて、昔使っていた強い弓は引けなくなりましたが、「弓道の奥深さ」に驚かされる日々は続いています。

しかしです....。このごろは、もうしばらくは頭をクリアに保って、趣味の弓道とはカテゴリーを異にする「自分本来の仕事」を残さなければならぬ、と思う日々です。

(ちなみに： 私は、この「本来の課題」を、「世のため人のため」という意味に限定する積もりはありません。)

継ぐ

弓道部部长 三澤清先生（平成6年度卒）

佐藤清昭前部長から部長を引き継いで5年目になりました。今年の弓道部は、新チームになって東海医歯薬男子準優勝、中部ブロック女子第3位、東国体女子第3位、西医体男女アベック準優勝、全医体第3位など好成績をあげることができました。昨年より成績は全体的に良好だったかもしれません。しかし、目先の成績よりも内容を重視し、浜松医大の伝統を後輩に継承することを優先してほしいと思います。鈴木蓮主将をはじめ幹部部員が安定した部内運営を行ってくれた良い1年であったと思います。

部長として出来ることは少ないですが、大会で1番の成績を収めた選手に記念のトロフィーを贈呈しています。いままで5人（石川駿君、望月琴美さん、村井雄紀君、藤田王樹君、鷺見健翔君）が、大会での最多的中を成し遂げました。今年は、鈴木蓮君が東海医歯薬で12射皆中、金子虎太郎君が西看体で20射15中で最多的中しています。継続的に、最多的中が出るのは非常に価値があると思います。

話はかわりますが、私も一応大学教員ですので教壇に立つことがあります。母校の後輩に授業ができることだけでも大変ありがたいことなのですが、今年の4年生は、授業に出てきた生徒の3分の1が弓道部員でした。きっと他の授業も弓道部員は授業にでているのだろうと思っています。いずれにしても、学生との交流は、私にとって貴重な体験ですので楽しく教員をしていきたいと思っています。

昨年は17名の6年生が卒業しました。春には、ほぼ同数の1年生が入部してくれました。1年生に元気な部員が多いような印象です。これから、また新しい弓道部の歴史がはじまると予感させます。これから、1,2年生は卒業までにいろいろな大会の主幹を行うチャンスがあります。スムーズな大会運営をできるのも浜松医大弓道部の一つの伝統ですので、先輩から引き継ぎ、後輩に伝えていってほしいと思います。最後に

なりますが、OB・OGの皆様には、日ごろから弓道部への厚いご支援をいただき大変感謝しております。今後とも、継続的なご支援をよろしくお願いいたします。

OBOG 会長挨拶

OBOG 会長 丸山哲史先生（平成8年度卒）

弓道部の皆さん、こんにちは。OBOG会長の丸山です。今年も現役部員の方々の大奮闘には心を熱くさせていただいています。さて、自他ともに認める筆不精な私、今年も弓道部思い出の写真をご紹介いたします。



1枚目はこちら。昨年ご紹介した92年の鳥羽水族館での記念写真。向かって左から三澤先生、木村先生、私です。お二人には今でもOBOG会でたいへんお世話になっておりますが、この頃はいたずラッコだったようで…。



続きまして更に1年後、いよいよ浜松医科大学の弓道場が着工。矢道の外側の斜面での作業中です。水窪ダムを思わせる手作り感で非常に感慨深いものがあります。ちなみにこの写真では私ものすごく活躍して

いるようにも見えますが、実はちょっと手伝ったときにそれっぽく撮ってもらっただけという噂も。よく見ると足元が革靴だったりするところでお察してください。

この写真の風景から 25 年が経ち弓道場も弓道部の規模も見違えるほど立派になりました。これも偏に歴代部員の努力の賜物と思います。これからも弓道部のさらなる発展に期待しております。

## OBOG 会役員挨拶

会計監事 生駒剛典先生（平成 22 年度卒）

会計監査を担当させていただいている、2011 年卒の生駒剛典です。浜松医大第三内科循環器グループに入局し、聖隷三方原病院での初期・後期研修を経て、昨年度から大学院生として大学に戻ってきました。昨年の田村先生に引き続き、ご挨拶申し上げます。

私が在籍していた頃の弓道部は、中部地区での上位常連校から西医体/西看大での上位進出を狙っていた時期でした。競技で強さを見せる事はもちろん、大会等の運営も含め、浜松医大弓道部の更なる発展を目指し日々腐心していた事を思い出します。大会で成績を残せない度に過度に落ち込み周囲に迷惑をかけ、その様子を指して「生駒る」という造語が生まれた事、全医体のレセプションに参加し、浜松医大伝統の“クッキンググローブ”を披露し大喝采を浴びる…と思いきや、東北大学の下ネタ全開の出し物の凄さに衝撃を受け全国の壁を痛感した事、卒業記念品の名札の枠を道場の壁に同期と脚立の上に乗って設置していた所、激しい揺れに襲われ、実はそれが東日本大震災であった事等…思い出は枚挙に暇がありません。

浜松医大弓道部の最大の長所は、その雰囲気の良いさだと思います。射場に入る前の最も緊張した時、すぐ傍で励ましてくれる仲間存在は貴重でした。昨年 OG の加藤先生も寄稿で触られていましたが、全員で全員を応援する、そんな先輩方から引き継がれてきた弓道部の雰囲気が大好きでした。現在も多くの部員が在籍し活気に溢れているようで何よりですが、これ

からも、多様な部員を温かく受け入れ、皆で楽しむ事ができる部活であってほしいと願い、微力ながら支えて行く事ができればと思っています。

ご挨拶と言いつつ思い出話が中心のまとまりのない文章となりお恥ずかしい限りですが、今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 前主将挨拶

第 30 代主将 鈴木蓮（医学科 4 年）

清秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年 10 月から今年の 9 月まで主将を務めさせていただきました、医学科 4 年の鈴木蓮です。この 1 年間、主将という職務を全うすることができたのは、多くの仲間たちの協力はもちろんのこと、OB・OG の皆様方のご支援のおかげだと思っています。また、2 月に行われました第 4 回 OBOG 総会には、ご多忙の中、過去最多となる 60 名近い OB・OG の皆様にご列席を賜りました。この場を借りて、重ねて感謝申し上げます。

さて、この 1 年間、私は主将として「弓道を通じて部員一人ひとりが充実した部活生活を送ること」を目標に、ひいては部員全員が、弓道部という部活に「誇り」をもってほしいと考えていました。弓道部伝統の仲の良さや雰囲気の良いさを基盤にしつつ、スタンスは違っても、部員全員が弓道の楽しさや奥の深さ、試合に勝つ嬉しさ、負ける悔しさを肌で感じられるように、主将としてサポートをしたいと思っていました。振り返ってみると、至らぬ点ばかりで自分自身の力不足を感じるとともに、歴代の先輩方の苦悩と努力を痛感し、自分にはまだまだ甘さがあったということを実感させられました。それでも、最終的には部員一丸となって、西医体男女アベック準優勝という結果を収めることができ、後輩達に弓道部独特の「いい雰囲気」が少しでも伝わってくれたのではないかと思います。

試合の成績という面では、先ほど述べた西医体団体

アベック準優勝や、東海医歯薬男子団体準優勝、春季県下女子団体準優勝、全医体団体第3位などが挙げられます。残念ながら、タイトル獲得にはあと一歩及びませんでした。しかしながら、1年生を含む現役生が中心のメンバーで西医体アベック準優勝を果たすなど、来年以降の飛躍が大いに期待できるものでした。再び「強い」浜松医科大学弓道部へと一步一步前進しているように感じます。

主将としての職務が終わり、私自身は引退生となりました。ただ、引退生になっても、この1年間で学んだことを、部に還元できるよう尽力していきたいと考えています。恩返しと言ったら大袈裟かもしれませんが、部活に関して自分にできることは精一杯やっています。

また、次期主将は医学科2年の久松優作が務めます。2年生ながら、部員からの信頼も厚く、頼りになる存在です。これからの弓道部を益々成長させてくれることと思いますので、OB・OGの皆様方には、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

末筆になりましたが、OB・OGの皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、前主将挨拶とさせていただきます。

---

#### 前看護科主務挨拶

金子虎太郎（看護学科3年）

落葉舞う頃、OB・OGの皆様におかれましては益々ご清勝のこととお慶び申し上げます。日頃より浜松医科大学弓道部に格別のご厚情を賜り、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

昨年より1年間看護科主務を務めさせていただきました、金子虎太郎です。

浜松医科大学弓道部の看護学科は4月に2名の1年生を新たに迎え、西看大に10名で出場してまいりました。私たち弓道部員が日々弓道の鍛練をし、大会に出場できるのはひとえにOB・OGの皆様のご支援のおかげです。部員一同大変感謝しております。

この1年、私は「雰囲気の良い部活」を目標として掲げ、弓道の鍛練を気兼ねなく行い、今後の弓道部を担う後輩の育成ができる環境を作るために尽力してまいりました。振り返るとこれまで先輩方が築き上げてきてくださったものがいかに大きく、大変な道程であったかを気付かされると同時に、自らが力不足であったことを深く感じさせられます。

来年は今年と同様、看護学科の男子が看護科主務を務めます。彼は人並み以上に弓道部を強く想い、行動できる人間です。これからの看護学科や浜松医科大学弓道部をより良い方向に成長させてくれると思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、前看護科主務の挨拶とさせていただきます。

---

#### 新主将挨拶

第31代主将 久松優作（医学科2年）

向寒の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年の10月より浜松医科大学弓道部第31代主務を務めることになりました、医学科2年の久松優作です。OB・OGの皆様が築き上げてこられた歴史ある部活の主将を務めさせていただくことに、大変身の引き締まる思いです。

今年度は新入部員が医学科15名、看護学科2名となり、部全体では68名と、ますます賑やかになりました。このような大人数で弓道に励み、多くの大会に参加できますのも、ひとえにOB・OGの皆様のご支援のおかげです。また、今年2月に行われたOBOG総会において多くの方にご参加いただき、盛況のうちに幕を閉じることができたことも加えて、この場を借りて皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、私が考える主将としての役目ですが、部活が部員全員にとって居心地のいい楽しい場であるようにすること、そして部員一人一人が部活に貢献できる

ような環境にすることだと考えております。部活に対する姿勢は人それぞれ違います。その中で一つの部活として活動していくためには、弓道部を誰もが好きになれる部活にし、部員が積極的に部活に関わっていただけるようにしなければならないと思います。各部員がそれぞれ弓道部にいる意義を見出し、部全体で強い一体感を生み出したいと考えています。

未熟な点も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新主将挨拶とさせていただきます。

---

#### 新看護科主務挨拶

土屋友洋（看護学科 2 年）

中秋の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は浜松医科大学弓道部に格別のご支援を賜り、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

10 月より看護科主務を務めさせていただくことになりました、土屋友洋と申します。

今年の西看大では最多の中賞はいたものの、全体としては団体、個人共にあと一步及ばない点があり、良い成績を残すことができませんでした。今後は、今回の反省を生かしつつ、一体感を意識し、互いに研鑽を重ねていくべきだと感じました。

今年看護学科に女子 2 名が入部しました。弓道部の中で看護学科の割合はそれほど大きくありませんが、その中でも看護学科 1 人 1 人が自分の個性を發揮し、看護学科、更には弓道部全体がより充実した場所になるよう、日々精進していければと思います。もちろん弓道のことだけではなく、今まで続いてきた伝統をしっかりと受け継いでいけるよう、邁進していきたいと思っています。

未熟な点も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、今後とも変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご健

康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、看護科主務の挨拶とさせていただきます。

---

#### OB・OGの方々からご寄稿を頂きました！

#### JCHO 中京病院

藤田王樹先生（平成 29 年度卒）

深秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平成 29 年度医学科卒業生、JCHO 中京病院 1 年次研修医の藤田王樹です。

入職してから半年ほど経った今でも、病院業務の一端を担うというよりは病院の端で教育を受けているような状況ですが、何とか周りの方々に支えられながら、精進を続ける毎日です。思えば弓道部に入部した当初も同じような心境であったと懐かしく振り返っています。

今研修医の私は上から指導を受ける立場であり、今後また長い年月を経てその立場も変化していくでしょう。私が弓道部に入部した時は大変幸運なことに、指導熱心な先輩に囲まれ様々なことを教えていただきました。そして進級するとともに後輩に向けて何か与えられればと、6 年間で自然とそういう気持ち芽生えました。それは偏に、諸先輩方が作り上げてきた素晴らしい環境のおかげであると思います。まだ浜松医科大学に弓道場がなかった時代から、指導を受ける下級生が、指導をする上級生へと成長していく 6 年間はあったのではないのでしょうか。それが積もり積もって現在の弓道部が成立しているのではないかと思います。そのような歴史がある弓道部で、是非在校生の皆様におかれましても実りある生活を送っていただきたいと願っています。

在校生の皆様がより過ごしやすい部活動を行えるように、今の私ができることは寄付金による援助しかありませんが、OBOG 会の一員として微力ながら協力していきたい所存です。浜松医科大学弓道部の益々の発展をお祈り申し上げます。

横浜市立大学附属病院

木根佑奈先生（平成 29 年度卒）

清秋の候、OB・OGの皆様、並びに在校生の方々に  
おかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げ  
ます。平成 29 年度卒、横浜市立大学附属病院研修医  
一年目の木根佑奈と申します。

今年度から晴れて研修を始められることができ、至  
らぬ点を多々感じながらも、上級医の方々の指導の下  
日々を過ごしています。まだ卒後半年ではありますが、  
寄稿の連絡をいただき大変うれしく思います。医師と  
して働き始め、自分の行動や言葉の一つ一つに責任が  
伴うことを、身をもって感じています。最近の仕事の  
大変な面ばかりではなく、楽しさも少しずつ実感でき  
るようになりました。その一方で、学生時代弓道に一  
生懸命になっていた頃が懐かしくもあります。今は後  
輩の皆様の活躍の連絡をいただくたび、心から喜ばし  
く思います。今年度は西医体や全医体、東国体など、  
数多くの大会で輝かしい結果を残され、さらに強い部  
活になっているようですね。仕事を始めてからは浜松  
に立ち寄る機会がありませんでしたが、また弓道場で  
みなさんと直接話をし、一緒に弓が引けることを願っ  
ています。

今年も大勢の新入部員が入部してくれたと聞きま  
した、新しい部員を迎え、益々活気のある部活になっ  
ていることでしょう。人数は多いですが、学年を超え  
て仲の良い弓道部の強みを生かし、今後も全員で楽し  
い部活を作っていくて下さい。末筆ではありますが、  
皆様のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今年度も OB・OG の方々からご寄稿を  
賜りました。お忙しい中、誠にありがと  
うございました。今年度に引き続き、来年度  
の会報誌にもぜひご寄稿のご協力をお願  
い申し上げます。

浜松医科大学医学部附属病院

村上諒様（平成 29 年度卒）

紅葉の候、浜松医科大学弓道部 OB・OG の皆様、並  
びに在学生の皆様におかれましては益々ご健勝のこ  
ととお慶び申し上げます。平成 29 年度看護学科卒、  
浜松医科大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・血管外科・  
整形外科病棟の 1 年目看護師として働いております  
村上諒です。学生時代とは違い、自らの手技によって  
患者様の命を左右してしまう仕事の責任を日々感じ  
ながら、優しく、時に厳しく指導して下さる先輩方  
に囲まれ経験を積んでいっています。時折現弓道部部  
長の三澤清先生と病棟でお会いし、弓道部の話題で盛  
り上がっています。

学生時代、自由に弓道場に通り弓を引いていまし  
たが、卒業した今、とても幸せな環境にいたというこ  
とを実感しております。道場に行けば部員の誰かがおり、  
弓を引かなくとも世間話で盛り上がるができる、  
とても良い居場所であったと思います。楽しいことば  
かりではなく辛いこともありましたが、それでも居心  
地の良い場所であったことは変わりありません。卒業  
し、一度夏のうなぎ杯に参加させていただきましたが  
楽しく弓を引かせてもらいました。久しぶりに道場の  
中から見る景色というのは、今まで自分が見ていた景  
色とは少し違って寂しさを覚えました。部員の皆が  
全力で弓道を、部活を楽しんでいる様子を見て、これ  
からも弓道部は大丈夫だろうと勝手に安心しており  
ます。今しかできないことが部活の中には詰まってい  
ると思います。学年や立場で視点は異なると思いま  
すが、自分のためでも、部活のためでも、できることを  
全力でやることをおすすめします。きっと振り返れば、  
思い出が今後も頑張れる原動力になってくれること  
と思います。

末筆ながら、OB・OG の皆様のご健康とご多幸、今  
後の弓道部の更なる発展を心よりお祈り申し上げま  
す。

## 近況報告 (一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。)

ついに6年生となり、卒業を控え寂しい気持ちです。大変なこともあったとは思いますが、振り返ってみると楽しかった日々ばかりが思い出されます。弓道部を通じ、いろいろな方に出会い、様々な経験をさせていただきました。たくさんの思い出を作ることができたこの部活にとても感謝しています。

杉浦琢也 (医学科 6年)



↑11月 秋のイソップ・竹山杯



↑11月 医大祭

弓道部に入部し、早二年半となりました。今年度も多くの後輩に恵まれ、先輩として少しでも成長しなければと痛感します。今年も西医体、全医体など数々の大会で、貴重な体験をさせていただきました。このような経験ができるのも、OB・OGの皆様のご支援の賜物であるということを忘れずに、日々精進して参りたいと思います。

山本麻綺 (医学科 3年)

引退してから一年以上経ち、去年までとは全く別の立場から部活に参加させていただきました。これからも先輩方が築き上げてきた「浜松医科大学弓道部」の名に恥じめように精進してまいります。また、年長者として責任を持ち、OB・OGの方々が残してくださった知識や経験、伝統をしっかりと後輩たちに受け継いでいこうと思います。

兵藤杜希哉 (医学科 4年)



←11月 しゃちほこ杯



↑11月 東海医歯薬





↑12月 グラスカップ

今年は、射技の指導のみならず大会に臨む姿勢や先輩後輩のつながりなど先輩方から教わったことが、OB・OGの方々から脈々と受け継がれる良き伝統であると感じることの多い1年でした。代替わりし私も幹部の一員に加わりました。至らない点もありますが、このような良き伝統を大切にし、より一層精進して参りたいと思います。

伊賀由梨香（医学科2年）

月日が経つのは早く、部員として過ごす時間も残り僅かとなりました。6年間を通して私自身だけではなく後輩たちの成長も実感しておりまして、弓道部で過ごす日々が部員の成長に大きく寄与しているように思います。卒業後は、OB・OGの皆様がくださったように、末永い弓道部の発展のために努めてまいります所存です。

川島大喜（医学科6年）



↑2月 春季県下



↑12月 冬のうなぎ杯

私が弓道部に入部してからまだ半年という短い時間しか経っておりませんが、十分に充実した時間を過ごすことができいております。それは先輩方の熱心な指導を受け、整った環境で練習することができ、弓道の上達を日々感じることができているからだと思います。私たち一年生も先輩方、OB・OGの皆様方が作り上げてきたこの弓道部をより一層盛り上げていく力となるべく日々精進していく所存です。

本堂一輝（医学科1年）



↑1月 三十三間堂



↑3月 メモリーカップ

引退して一年が経ちましたが、いつ行っても暖かく迎え入れてくれるこの部活が、自分にとっての居場所となっています。これからも弓道部で出会った人との繋がりを大切にしていきたいです。

伊藤望（医学科5年）

先日幹部交代を終え、早くも引退生となりました。充実した時間ほど早く過ぎるものとは言いますが、現役生としての4年間は大変貴重なものであったと、改めて実感しております。これまで、先輩方に学ばせていただいたことを、後輩たちに還元できるよう一引退生として、協力していきたいと思えます。

江澤康平（医学科4年）



↑3月 追い出しコンパ



↑3月 合宿



↑3月 卒業式



↑4月 理工科戦



↑5月 新歓遠足

弓道部に入り、一年半が経ちました。今年は新たに後輩という存在もでき、先輩として何ができるのか自問する毎日です。少しでも弓道部の発展に寄与できるよう、日々精進して参ります。

鈴木まこ (看護学科 2年)



↑6月 中部ブロック



↑6月 夏のうなぎ杯

春には、医学科 14 人、看護学科 3 人の先輩方がご卒業され、新たに医学科 15 人、看護学科 2 人の新入生を迎えました。また、夏には西医体の団体戦では男女共に準優勝を達成しました！



↑7月 東国体

## PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるようにいたしました。

是非ご覧ください。

<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp/>から  
[アイテム]→[会報誌]にてご覧になれます。



↑7月 BBQ



この一年間、鈴木主将の下、幹部学年をやり遂げる事が出来たのも、OB・OGの方々の多大なるご支援や部員の協力があったからだと思っています。本当にありがとうございました。これから引退生として、先輩方が築き上げてくださった弓道部の伝統と雰囲気の良いを守っていけるよう部活に関わっていけたら良いなと思っております。

神戸美有希（医学科4年）



↑8月 西医体



↑8月 西看体

弓道部に入部してから半年が経ちました。新しい生活が始まり不安で一杯の中、先輩方は気さくに接して下さり、初心者の私にも一から弓道を教えて下さいました。今は大会で活躍している先輩方の背中を追いかけて、楽しく練習しています。私たち一年生が充実した練習を行えるのも先輩方の熱心なご指導や、OB・OGの方々のご支援のおかげだと感じています。そのことを心に留め、尊敬する先輩方に近づくようにこれからも日々精進していきたいと思っております。

荒川翠（医学科1年）



↑9月 全医体



↑10月 幹部交代コンパ

## 試合結果 (2017.10~2018.9)

### 東海医歯薬学生弓道大会 (2017. 11. 11~12)

#### 【団体戦】

男子団体 準優勝

#### 【男子個人戦】

鷺見健翔 (医学科 4 年) 第 4 位

#### 【女子個人戦】

岩瀬千郷 (医学科 5 年) 優勝



↑ 東海医歯薬学生弓道大会の様子

### 静岡県下学生弓道選手権春季大会 (2018. 3. 3)

#### 【団体戦】

女子団体 B 準優勝

女子団体 A 第 3 位

#### 【男子個人戦】

鈴木蓮 (医学科 4 年) 優勝

河合佑樹 (医学科 4 年) 第 3 位

#### 【女子個人戦】

川口琴子 (医学科 5 年) 優勝

梁瑗真 (医学科 2 年) 準優勝

伊賀由梨香 (医学科 2 年) 第 3 位

鈴木まこ (看護科 2 年) 第 4 位

### 中部ブロック医科学生弓道大会 (2018. 6. 9~10)

#### 【団体戦】

女子団体 B 第 3 位

#### 【男子個人戦】

鷺見健翔 (医学科 5 年) 第 3 位

#### 【男子最優秀射技賞】

鈴木蓮 (医学科 4 年)



↑ 中部ブロック医科学生弓道大会の様子

### 東海地区国立大学体育大会 (2018. 7.15)

#### 【団体戦】

女子団体 第 3 位

#### 【女子個人戦】

川崎七海 (医学科 4 年) 優勝

西日本医科学生総合体育大会 (2018. 8. 12~15)

【団体戦】

男子団体 (120 射 79 中) 準優勝

女子団体 (60 射 32 中) 準優勝



↑ 西日本看護学生弓道選手権大会の様子

全日本医科学生体育大会王座決定戦 (2018. 9. 1~2)

【団体戦】

団体 (120 射 67 中) 第 3 位

【個人戦】

服部 柚子 (医学科 1 年) 第 7 位

鈴木 蓮 (医学科 4 年) 第 8 位



↑ 全日本医科学生体育大会王座決定戦の様子

↑ 西日本医科学生総合体育大会の様子

西日本看護学生弓道選手権大会 (2018. 8. 18~20)

【団体戦】

団体 A (60 射 28 中)

団体 B (60 射 16 中)

団体 C (60 射 8 中)

【団体最多の中賞】

金子虎太郎 (看護学科 3 年) 20 射 15 中

## 昇段審査結果 (2017.11~2018.10)

2017 年

11 月 中部地区審査 (静岡市・北部体育館)

参段 岩瀬千郷 (医学科 5 年)

2018 年

3 月 西部地区審査 (浜松市・佐久間瞑想館弓道場)

式段 伊賀由梨香 (医学科 1 年)

久松優作 (医学科 1 年)

四段 井澤将太 (医学科 3 年)

神戸美有希 (医学科 3 年)

5 月 中部地区審査 (静岡市・北部体育館)

式段 土屋友洋 (看護学科 2 年)

9 月 静岡県弓道連盟定期審査 (静岡市・北部体育館)

式段 田淵明日香 (医学科 2 年)

梁瑗眞 (医学科 2 年)

参段 小川結衣 (医学科 3 年)

山口藍 (医学科 3 年)

10 月 西部地区審査 (浜松市弓道場)

初段 荒川翠 (医学科 1 年)

大澤悠 (医学科 1 年)

小俣尚輝 (医学科 1 年)

鎌田夏海 (看護学科 1 年)

佐橋颯太 (医学科 1 年)

杉浦勇希 (医学科 1 年)

柘植和 (看護学科 1 年)

菱田昂太郎 (医学科 1 年)

平田梨沙 (医学科 1 年)

杜博文 (医学科 1 年)

安江舞羽 (医学科 1 年)

式段 小永井桃 (看護学科 2 年)

藤原達矢 (医学科 2 年)

渥美佳奈 (医学科 1 年)

栗田幸太郎 (医学科 1 年)

服部柚子 (医学科 1 年)

参段 山口真央 (医学科 1 年)



↑ 西部地区審査の様子

学年はすべて当時のものを記載しております。

## 第 5 回 OBOG 総会のお知らせ

第 4 回 OBOG 総会では、多くの OB・OG の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

次回の第 5 回 OBOG 総会は、2020 年 2～3 月に開催いたしたく存じます。前回同様、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。詳細が決まり次第ご連絡いたしますが、ご調整のほどよろしく願いいたします。

## OBOG メーリングリスト

OBOG 係では、試合結果やコンパのご案内などをメーリングリストにて配信しております。

メーリングリストの登録をされていない方は、小川結衣までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

小川結衣：[hamaikyudoobog@gmail.com](mailto:hamaikyudoobog@gmail.com)

## 会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OBOG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告について記載した報告書も同封いたしました。多くのご援助、深く感謝いたします。

## ● 編集後記

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

前回の第四回 OBOG 総会は、創部三十周年を記念して盛大に開催されました。過去最多の参加人数となり、部員と皆様との交流が深まった非常に有意義な会となったことを、大変嬉しく存じます。参加してくださった皆様に感謝申し上げます。

今年度も西医体での男女準優勝など、数々の大会で団体戦、個人戦ともに入賞することができました。西医体の団体のメンバーはほぼ全員が現役生で、男子団体の約半分は一年生であり、来年度も更なる活躍が期待されます。今後も浜医弓道部の更なる発展に向けて部員一同努力してまいります。

本年度も引き続きご支援ご厚情を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

OBOG 係

小川結衣 滝澤知佳